

支援プログラム

事業所名
作成日

ぶらねっとスクール
2025年6月18日

法人（事業所）理念	気になるからはじまる発見 「自分のペースで」、私たちは「きっかけ」を大切に豊かな想像力を育みます
支援方針	「気になる」という気持ちを尊重し、自由な発想や想像力を引き出し、楽しみながら学ぶことができる環境を提供します。 プログラミング的思考を通して、一つひとつの発見と挑戦を促し、未来を切り拓く力を引き出します。
営業時間	平日：10時15分～17時30分／土日祝（一部）：13時00分～17時00分

支援内容			
本人支援	健康・生活	健康管理：来所時の視診・体調聞き取り・検温を通じて健康状態を把握。手洗い・消毒の徹底、季節に応じた衣服の着脱の声掛け、適切な水分補給の促し、緊急時や体調不良時には、提携病院との連携 生活習慣と自立：その日の活動内容の予定を立てて、見通しを持った過ごし方を身につける。時計やタイマーを用いて時間の把握や時間の配分を考える。持参した荷物はカゴに入れて整理整頓を促す。 デジタルツールの基礎や思考力：パソコンなどを使用してのプログラミング、3Dプリンター、レーザー刻印機、デザインなどを通してプログラミング的思考を身につけ、問題解決能力を高める。 （工作などの手先を使うことを通して、つまむ、切る、貼る、ひねる、折る、通す、結ぶなどの動作をおこなう）	
	運動・感覚	指先の巧緻性：パソコン操作（マウス・タイピング）や工作活動を通じて、指先の巧緻性を高める。 手先の巧緻性：（折り紙、ハサミ、テープ、のり、絵具、マーカーペンなどを用いた工作、ブロック、ワークプリント）などを通じて、手先の巧緻性を高める。 姿勢保持：取り組みを行う際の正しい姿勢への声掛け。 視覚運動協応と空間認知：ワークプリントやデジタルツールを使ったビジョントレーニングなどを通して、目で見た情報を身体で処理し、空間を認識する力を高める。	
	認知・行動	デジタルコンテンツを活用した概念理解：プログラミング学習やデザインソフトの操作を通じて、文字、数、空間、時間といった抽象的な概念をデジタル上で視覚的に捉え、理解を深める。 情報取得と見通し：活動内容や手順を分かりやすく提示することで、情報を正確に取得し、見通しを持って行動する力を育む。 計画性と問題解決思考：デジタルツールを用いた作品制作などを通して、目標設定、手順の計画、課題発生時の解決策の検討といった論理的思考力や問題解決力の経験を支える。 集中力と注意力：パソコン上での作業や工作、ボードゲーム、ワークプリントなど、集中して取り組む活動を通して、持続的な集中力と注意力を高める。 季節と時間の認識：季節の行事や製作などを通し、季節の流れや時間の感覚を養い、社会や文化への理解を深める。 学習成果の発表と交流：作品発表の場を設け、お子さん同士が成果を共有することで、自己表現力と他者交流を促す。 情報活用：ICT活用スキルを身につけ、自分に合った学習方法や情報収集の手段を見つけることを支援する。	
	言語・コミュニケーション	アナログゲームで交流：トランプやUNOなどのアナログゲームを通し、協力する集団での動き方を考え、自然なコミュニケーションの取り方を学ぶ。 読み書き能力支援：ワークプリントなどで、読み書きへの興味と基礎能力の向上を図る。 自由時間での対話促進：自由時間に行われるトランプやボードゲームの活動中に、他の利用児や指導員との自然な対話を促し、コミュニケーションの実践的な機会を増やす。 会話を通した語彙と表現力の向上：会話のキャッチボールを経験し、語彙を増やし、自分の考え方や感情を言葉で表現する力を育む。	
	人間関係・社会性	ルール遵守と協調性：ルールのあるゲームや取り組みを通し、ルールを守る意識と集団行動の規範を学ぶ。 多様な他者との交流：小集団活動で様々な年齢の利用児と関わり、他者の存在や想いを知り、多様性を尊重する心を育む。 情緒の安定と自己理解：指導員との対話で信頼関係を築き、自身の感情に気づき、安定した情緒で過ごせる方法を身につける。	
家族支援		保護者面談(保護者様からの相談や困りにごに随時対応) 各関係各所との連絡事項の共有	移行支援 進学先就学先との情報共有。同年代のお子さん同士の集団作り 進学や就学などの環境変化に向けての課題提示及び実践
地域支援・地域連携		各関係各所との連絡事項の共有	職員の質の向上 ・ミーティングの実施・虐待防止研修、キャリアアップ研修、専門研修、課題別研修の参加 ・避難訓練、防災訓練
主な行事等		・季節毎のイベント行事実施 ・避難訓練、防災訓練	